

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公表特許公報 (A)

(11)特許出願公表番号

特表平8-506322

(43)公表日 平成8年(1996)7月9日

(51)Int.Cl.⁶

A 6 1 K 31/70

識別記号

A E D

A B E

A B F

A B G

A C J

庁内整理番号

9454-4C

F I

審査請求 未請求 予備審査請求 有 (全180頁) 最終頁に続く

(21)出願番号	特願平6-512329	(71)出願人	イエダ リサーチ アンド ディベロップ メント カンパニー リミテッド
(86)(22)出願日	平成5年(1993)11月9日		イスラエル国 76100 レホヴォット ビ ー、オー、ボックス 95
(85)翻訳文提出日	平成7年(1995)5月10日	(71)出願人	コーヘン、イルン アール、
(86)国際出願番号	P C T / U S 9 3 / 1 0 8 6 8		イスラエル国 76100 レホヴォット ハ ンキン ストリート 11番地
(87)国際公開番号	W O 9 4 / 1 1 0 0 6	(71)出願人	リダー、オファー
(87)国際公開日	平成6年(1994)5月26日		イスラエル国 76100 レホヴォット、ゴ ードン ストリート 21番地
(31)優先権主張番号	9 7 4 , 7 5 0	(74)代理人	弁理士 平木 祐輔 (外2名)
(32)優先日	1992年11月10日		
(33)優先権主張国	米国 (U S)		
(31)優先権主張番号	0 9 6 , 7 3 9		
(32)優先日	1993年7月23日		
(33)優先権主張国	米国 (U S)		

最終頁に続く

(54)【発明の名称】 サイトカイン活性の調節のための組成物

(57)【要約】

宿主のサイトカイン活性を調節するための、実質的に精製された形のカルボキシル化および/または硫酸化オリゴ糖から成る物質、該物質を含む組成物および該物質の使用方法を開示する。例えば、腫瘍壊死因子 α (TNF- α)の分泌は、実質的に精製された形の特定のオリゴ糖から成る物質またはそれらの組成物を宿主に投与することにより、選択的に阻害または促進され得る。かくして、本発明は、TNF- α のような活性サイトカイン分泌の誘導を伴う病理学的過程を予防および/または治療するための医薬組成物ならびにそれらの使用に関する。また、本発明は、病原体を含む活性化剤の存在に対して宿主による望ましい免疫系関連応答を開始させることに関する。本発明の物質および医薬組成物は、一般には0.1mg/kg(ヒト)以下の極低有効量で、毎日投与されるか、または約5~8日の間隔で、好ましくは週1回投与される。